

▶ 「鉄と鋼」論文の別刷料金について ◀

「鉄と鋼」に掲載論文の別刷料金は平成 4 年 3 月号掲載のものより右記のように致しますのでお知らせ致します。

なお、論文および寄書につきましては、別刷を 50 部以上購入していただくことになっております。

部数 \ ページ数	1～4	5, 6	7	8
50	22,000	25,000	37,500	50,000
100	26,000	29,000	43,500	58,000
150	30,000	34,000	51,000	68,000
200	32,000	36,000	54,000	72,000
250	35,000	39,000	58,500	78,000

消費税、送料は本会で負担いたします。

■鉄基複合材料部会第 2 回中間報告会案内■

昭和 63 年度より、異種材質間の界面の組成、構造が、複合材料の加工特性、強度特性、環境特性等にどのような影響を与えるかを調査するために、鉄鋼基礎共同研究会内に鉄基複合材料部会が発足しました。この部会では、共通試料として、C レベルを変えた Fe-C 系合金をベースとした Ti のクラッド材、または TiN コーティング材を作製し、以下の研究項目に分かれて研究を行っています。

- 1) 複合材料の最適素材製造条件の探索と成型性能評価法の確立
- 2) 複合材料の強度特性、及び環境特性の評価法の確立
- 3) 複合材料の加工特性、材料特性におよぼす界面組成、構造の役割の解明

今回は第 1 回中間報告会として、これらの研究活動の中で、特に、試料接合法と強度特性の関係に焦点を絞り、研究成果を報告いたしました。今回は加工特性と界面の評価法について報告いたします。多教の方々のご来聴をお待ちしております。

1. 主催 (社)日本鉄鋼協会 鉄鋼基礎共同研究会 鉄基複合材料部会
2. 日時 平成 4 年 4 月 1 日 (水)～3 日 (金) の講演大会期間中
3. 会場 千葉工業大学
4. プログラム

(1)加工特性 座長：新日鉄 鉄鋼研 齊藤 亨

1) 圧延材料の評価

- ・ 圧延性
- ・ 成型性

木内 学 (東大生研)
小川 和博 (住金鉄鋼技研)

2) コーティング材料の評価

- ・ 製造法 (TiN)
- ・ 製造法 (溶射)
- ・ 腐食挙動

渡辺 輝夫 (大同研開)
吉田 豊信 (東大工)
杉本 克久 (東北大工)

(2) 界面評価法 座長：東大工 石田洋一

- ・ 電子顕微鏡
- ・ オージェ電子分光

乾 晴行 (京大)
本間 禎一 (東大生研)・吉原 一紘 (金材技研)・

- ・ X 線光電子分光
- ・ 超音波顕微鏡

藤田 大介 (金材技研)
広川吉之助 (東北大金研)
成田 敏夫 (北大)

5. 問合せ先 (社)日本鉄鋼協会 技術室 宮谷 仁史・林 万紀子

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 TEL (03)3279-6021 FAX (03)3245-1355